IMTS資料 (トヨタ自動車株式会社作成)

IMTS

(Intelligent Multimode Transit System)

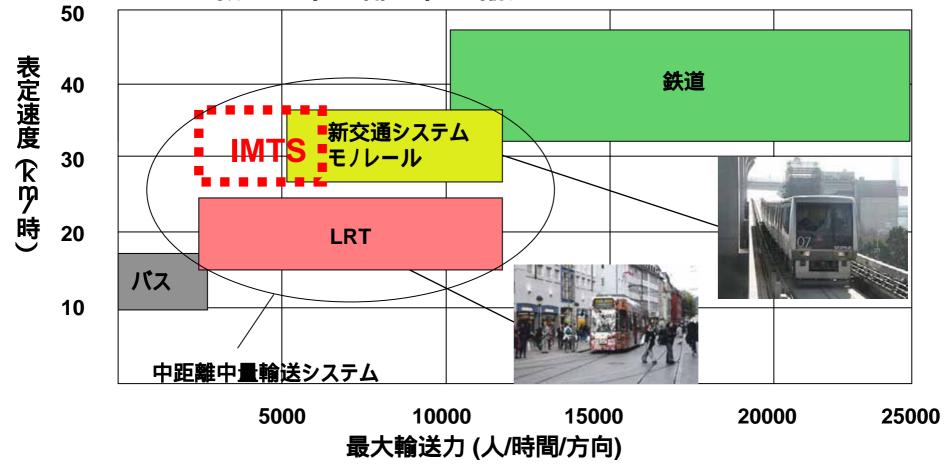
フレキシブルで経済性に優れた新しい交通システム





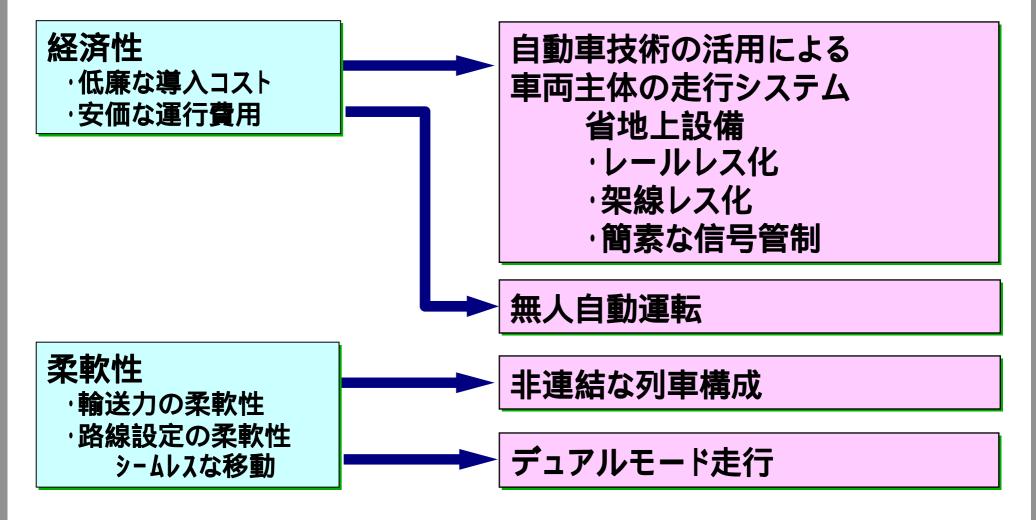
既存の交通システムとIMTSの位置付け

IMTS: 新交通システムとバスを中間の需要をカバーする 新しい中距離・中量輸送システム





IMTSOM561





IMTSのコンセプト

■ 専用軌道: バス車両の自動運転・隊列走行

■ 一般道路: 通常の路線バスとしての手動運転・単車走行





既存の軌道系システム(新交通)とバスを融合した新しい交通システム

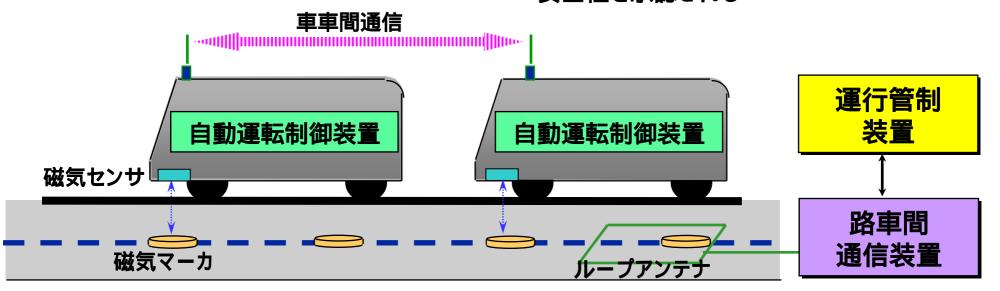




IMTSの技術的特徵

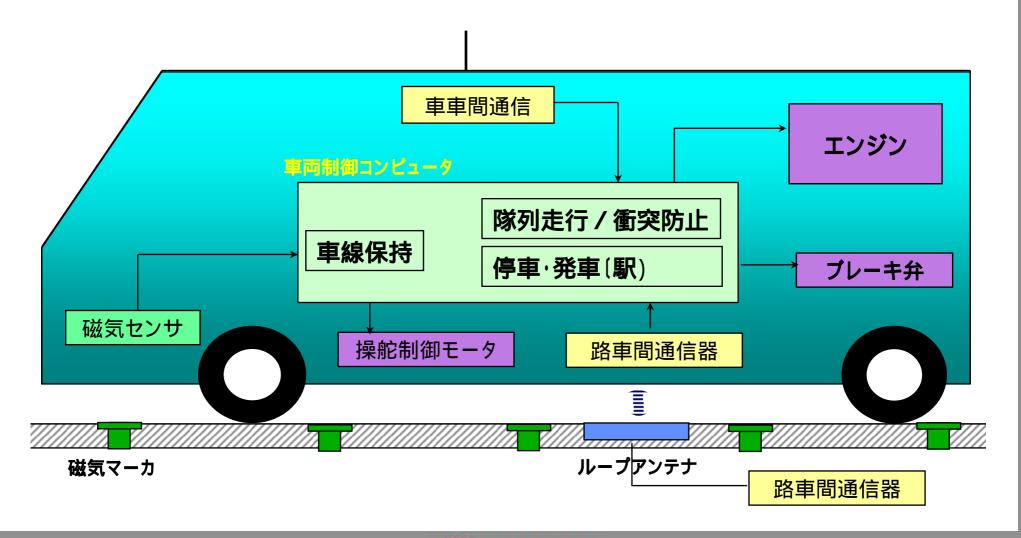
- 1. 磁気マーカによる非接触車線案内(自動操舵制御)
- 2. 車車間通信による隊列走行
- 3. 車両主体の自動運転

2003年6月国土交通省鉄道局よりシステムの安全性を承認される





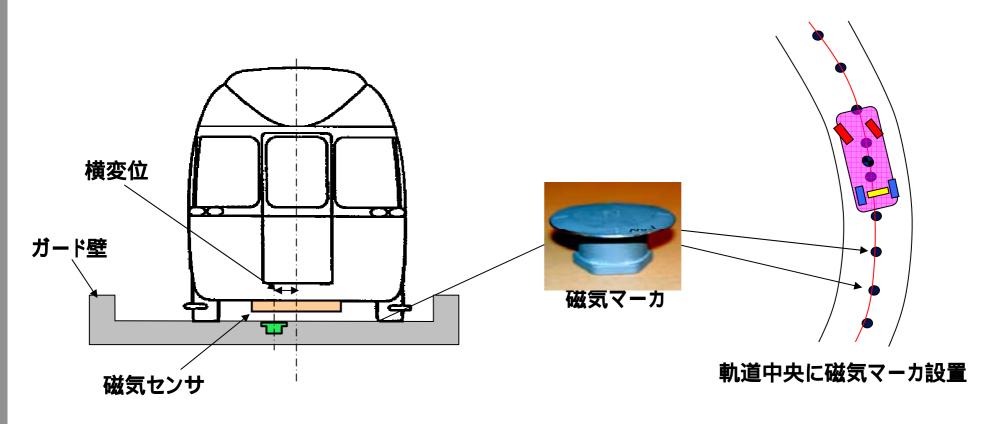
IMTS自動運転システム構成





磁気マーカによる非接触車線案内

- 磁気マーカのカウントで走行位置を把握
- 車両が常に磁気マーカ上を通過するよう操舵角度を自動制御





車車間通信による隊列走行

- 隊列内の車両間隔制御
 - ・車車間通信で車両情報を共有し、車間距離を算出
 - ・先行車両状態に応じた速度制御
- 隊列の管理
 - ・隊列内先頭車への情報伝達(ドア開閉、故障情報等)
 - ・故障時隊列内車両の一斉停止

車車間通信

- ·無線通信 (2重系)
- ·光通信 (1重系)

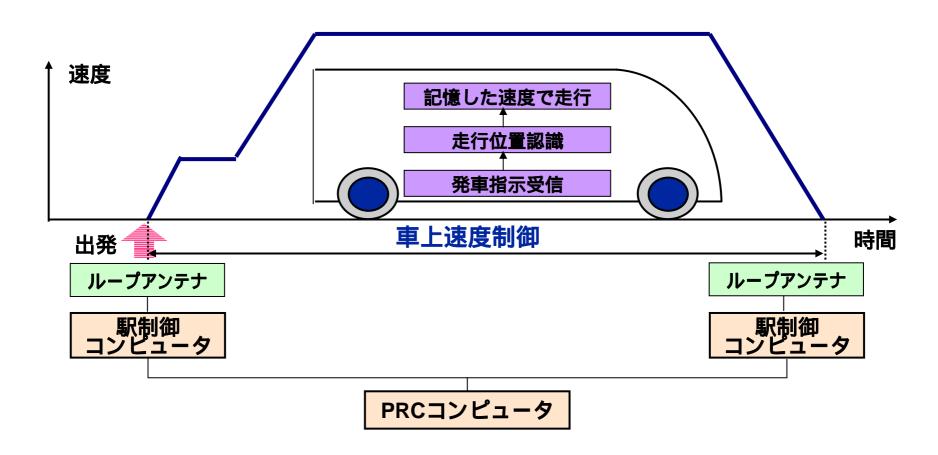
車車間通信(位置、速度、加速度、ブレーキ信号、非常信号)





車上システム主体の自動運転制御

■ 自動運転に必要な情報(速度、走行ルート等)を車上コンピュータに記憶





他交通システムとの比較

新交通システム 頂 IMTS 軌道概観 ガード壁 磁気マーカ 3 軌道及び ガード輪 軌電線 ガード壁 車両構造 ガイド輪 针 案内レール 磁気マーカ



IMTSの適用領域

- 空港 / 主要鉄道駅と周辺都市部との連絡
- 都市内の幹線・補助交通
- 空港 / テーマパーク等の施設内移動









IMTS愛·地球博線の概要

1.主な特徴

車両デザイン: 発芽からイメージした、乗客を優しく包み込むフォルムと曲面的なグラスキャ

ピンによるパノラミックな視界

走 行: 専用道では自動運転・隊列走行

一般道(会場内管理道路)では単独マニュアル走行(デュアルモード)

隊列最後尾車両が自動分岐して一般道を走行し、再び専用道へ戻るときは

隊列最後尾に自動合流

2. 運行計画

導入台数: 13両(全4編成、2~3両/編成で運行)

運行速度: 最高速度約30km/h、平均速度約20km/h

所要時間: 約10分(片道:北ゲート駅~西ゲート駅~EXPOトーム駅)

運転間隔: 自動運転区間 10分間隔(6本/時間)

マニュアル運転区間 40分間隔(1~2本/時間)

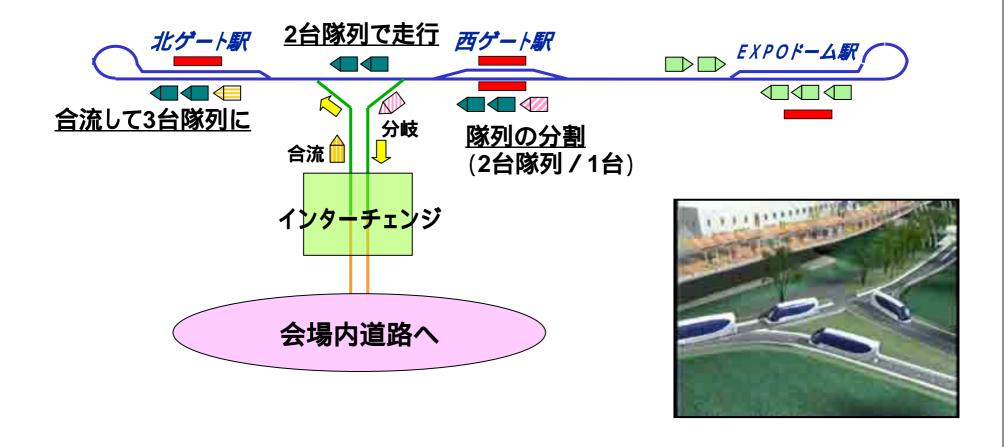
輸送能力: 自動運転区間(往復) 18,400人/日

マニュアル運転区間(往復) 1,500人/日





IMTS愛・地球博線の概要





北ゲート駅を出発したIMTS



EXPOドーム駅で乗車中の乗客



西ゲート駅での合流



